

議会だより

令和2年

第61号

10月9日発行

心に刻んだ
笑顔あふれる運動会

9月27日、町内の小学校で運動会が行われた。
新型コロナウイルス感染症対策として、観覧者の制限やプログラムを削減し午前中のみ開催とするなど、規模縮小が図られたが、校庭には児童や保護者の大きな笑顔があふれた。

Contents

- （臨時会・定例会で決まったこと）……………2
- 令和元年度決算を認定……………4
- 町政を問う（一般質問）……………6
 - 「委員会って何？」……………11
 - 委員会の審査報告……………12

144億円

膨らむ一般会計予算

令和2年第2回長島町議会臨時会が8月11日開かれた。

新型コロナウイルス感染症対策として交付される国の第2次補正予算を受けた緊急経済対策費用のほか、町内各地に大きな被害をもたらした7月豪雨に係る災害復旧費用などを盛り込んだ令和2年度一般会計補正予算のほか、国民健康保険診療施設、介護保険の2特別会計補正予算案を審議し原案のとおり可決した。

令和2年第3回長島町議会定例会が9月4日から25日まで22日間の日程で開かれた。おもに7月豪雨の災害復旧に係る費用など9億3076万7千円を盛り込んだ令和2年度一般会計補正予算などを、2つの常任委員会では審議、協議した結果、全予算案を原案のとおり可決した。

このほか、オンライン授業などの実施に向け公立学校にタブレット端末を購入する売買契約など議案12件、令和元年度的一般会計と特別会計の

決算14件を認定、人権擁護委員候補者を適任者として答申した。

今回、計上された予算の主なものは次のとおり。

なお、臨時会で6億5102万円を、定例会で9億3076万7千円をそれぞれ追加したことで、一般会計総額は144億9267万5千円にのぼった。

主な事業費（臨時会分）（単位：千円）	総額135億6190万8千円 (6億5102万円追加)
【7月豪雨災害分】	
7月豪雨災害に係る土砂撤去等復旧経費・・・	56,479
林道災害復旧設計等経費・・・	41,600
農業用施設等災害復旧設計等経費・・・	51,000
河川災害復旧設計等経費・・・	52,711
【新型コロナウイルス対策分】（地方創生臨時交付金など国庫補助金が主な財源）	
庁舎内ネットワーク・テレワーク環境整備に係る経費・・・	17,409
ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費・・・	17,730
保育園などへのマスク・消毒液を購入する費用・・・	5,142
鷹巣診療所電子カルテ購入費用・・・	23,382
水産業支援事業（養殖業ICT導入支援など）・・・	93,009
町内宿泊業者に対する宿泊応援キャンペーン事業・・・	9,601
公立学校情報機器整備事業（町内小中学校への端末購入）・・・	62,205
教育振興一般経費（校務支援システム構築費用）・・・	36,740

主な事業費（定例会分）（単位：千円）	総額144億9267万5千円 (9億3076万7千円追加)
【7月豪雨災害分】	
アオサ養殖場土砂撤去に係る工事請負費・・・	23,630
林道18カ所の災害復旧に係る工事請負費・・・	110,000
農業用施設災害復旧工事費・・・	107,000
農地災害復旧工事費（畑47件、田7件）・・・	149,000
河川災害復旧に係る工事請負費（10河川）・・・	331,420
※このほか、新型コロナウイルスの影響で中止となった研修会やイベント・行事などにかかる旅費や補助金、委託料などを補正し、減額している。	

契約

消防ポンプ自動車購入

特定離島ふるさとおこし推進事業を活用し、獅子島分団の消防ポンプ自動車を更新する。

納期は令和3年3月15日まで。2046万円、鹿児島森田ポンプ㈱と契約締結。

公立学校情報機器端末購入

町内小中学校の児童、生徒へ1人1台ずつタブレット端末957台分を購入し、オンライン授業などを可能にする。1台当たり約6万4千円。

納期は令和3年3月10日まで。6163万

5585円で、富士電

機ITソリューション

㈱鹿児島支店と契約締結。



港整備工事

港整備交付金工事 長島港本浦地区（R2-1工区）は、6721万円で、ティエス㈱と契約締結。工期は令和3年3月19日まで。

伊唐北漁港（R2の1工区）は、1億780万円でティエス㈱と契約締結。工期は令和3年3月29日まで。

条例

町営住宅条例の改正

町営住宅需要への事務手続きを迅速で柔軟に対応するための改正。

国民健康保険診療所設置条例の改正

新しい鷹巣診療所が完成したことに伴い設置位置（地番）を変更するための改正。



完成した鷹巣診療所。開所は11月1日を予定

伊唐港整備工事

社交金工事 長島港伊唐地区の1工区は6347万円で、㈱長崎組と契約締結。工期は令和3年3月16日まで。

2工区は7865万円で、㈱長崎組と契約締結。工期は令和3年3月19日まで。

水道事業給水条例の改正

水道法改正に伴う、指定給水装置工事業者の指定の更新制が導入されたことによる改正。

教職員住宅条例の廃止

教職員住宅の教育財産から普通財産への移行手続きを柔軟に対応し、住民サービスの向上を図るため条例を廃止。

認定

長島町決算の認定

令和元年度長島町決算14件（一般会計、特別会計13件）が議会の認定に付されたので、決算審査特別委員会を設置し、審査の上、認定した。（詳細はP4-5に記載。）

人事

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員の桑原和普氏（川床上）が令和2年12月31日で任期満了となることから、再任として同氏を推薦するための諮問がなされたので、適任者として答申した。

その他

新たに生じた土地の確認・字の区域変更

観音漁港公有水面埋立てのしゅん功認可があったため、これを新たに生じた土地と確認し、字の区域を変更した。

〔第2表〕特別会計の収支の状況

区 分	歳入総額	歳出総額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額	単年度収支
国民健康保険特別会計	2,241,446,603	2,043,749,118	0	197,697,485	▲134,903,467
国民健康保険診療施設特別会計	1,147,610,472	1,113,796,378	30,438,000	3,376,094	2,749,912
へき地診療施設特別会計	66,798,130	60,505,280	0	6,292,850	▲9,039,686
介護保険特別会計	1,358,450,996	1,302,263,168	0	56,187,828	9,662,729
簡易水道特別会計	733,775,040	607,886,774	0	125,888,266	74,091,257
諸浦港埠頭特別会計	9,816,083	2,789,312	0	7,026,771	1,291,728
農業集落排水特別会計	55,496,605	52,745,592	0	2,751,013	1,603,908
漁業集落環境整備特別会計	48,698,933	48,169,016	0	529,917	▲3,346
特定地域生活排水処理特別会計	42,035,504	40,787,374	0	1,248,130	▲715,834
水産種苗供給特別会計	27,352,294	23,578,502	0	3,773,792	▲835,842
後期高齢者医療特別会計	123,484,918	123,106,200	0	378,718	▲188,120
太陽光発電特別会計	178,751,733	95,244,141	0	83,507,592	▲2,393,979
観光施設特別会計	150,983,678	156,601,486	0	▲5,617,808	▲11,668,573
合 計	6,184,700,989	5,671,222,341	30,438,000	483,040,648	▲70,349,313



完成が見込めない多目的広場

▼総務課
Q 山中地区の多目的広場整備事業は、総合運動公園の捨土のみで埋立が見込めるか。いつ完成するか。
A 当初計画では16万立米の捨土を設計した

▼企画財政課
Q 獅子島架橋基金は13億5千万円積み立てであるが、今後、国や県にどのようなアピールをする考えか。
A 町では28億円を目標に積み立てている。薩摩川内市の飯島大橋が先日開通した。県道として事業推進する方向性を探っている。

委員会からの質疑から
特別委員会で行われた質疑を一部抜粋して紹介します。

▼地方創生課
Q ふるさと納税の返礼率を30%以内との国からの指示があるが。
A 国、県の指導を受け、28.29%の還元率となっている。

▼建設課
Q ぐるっと一周景観整備はいつ終了か。
A 現在、国庫補助で実施しており、令和2年度で終了予定。

▼耕地課
Q 伊唐大橋の今後の補修計画は。
A 橋りょうの長寿命化を県で行い、工事も県で行う計画となっている。

用語の解説

- ◆歳入
 - 会計年度における町の収入
 - ◆町税
 - 町民税、固定資産税などの税金
 - ◆繰越金
 - 前年度から繰り越したお金
 - ◆分担金及び負担金
 - 町が行う特定事業で利益を受けた人から負担してもらったお金
 - ◆使用料及び手数料
 - 〔使用料〕公共施設などを利用した人が負担するお金
 - 〔手数料〕行政サービスに対して負担したお金
 - ◆寄附金
 - 町民などが無償で町に提供してくれたお金
 - ◆繰入金
 - 他会計や基金から繰り入れるお金
 - ◆地方交付税
 - 町の財政状況に応じて国から交付されるお金
 - ◆国庫支出金
 - 特定の事業のために国や県から支出されるお金
 - ◆町債
 - 大きな事業などを行うために町が借り入れるお金（借金）
- ◆歳出
 - 会計年度における町の支出
 - ◆民生費
 - 子どもや高齢者、障がい者などの福祉全般に使うお金
 - ◆土木費
 - 道路や公園整備などに使うお金
 - ◆総務費
 - 人事や企画、財政、戸籍、統計、交通安全などに使うお金
 - ◆公債費
 - 町債（借金）の返済に充てるお金
 - ◆農林水産業費
 - 農林業、水産業振興に使うお金
 - ◆消防費
 - 消防や防災事業などに使うお金
 - ◆教育費
 - 学校運営の費用や生涯学習、スポーツなど教育全般に使うお金
 - ◆衛生費
 - 保健衛生や公害対策など安全で衛生的な生活のために使うお金
 - ◆商工費
 - 商工・観光振興などに使うお金
 - ◆災害復旧費
 - 暴風や地震などの災害で生じた被害を復旧するためのお金
 - ◆議会費
 - 議会活動に使うお金
- 自主財源
 - 国庫支出金や、地方交付税など国や県などにより定められたり、割り当てられた収入

令和元年度決算を認定

町の家計は黒字？赤字？



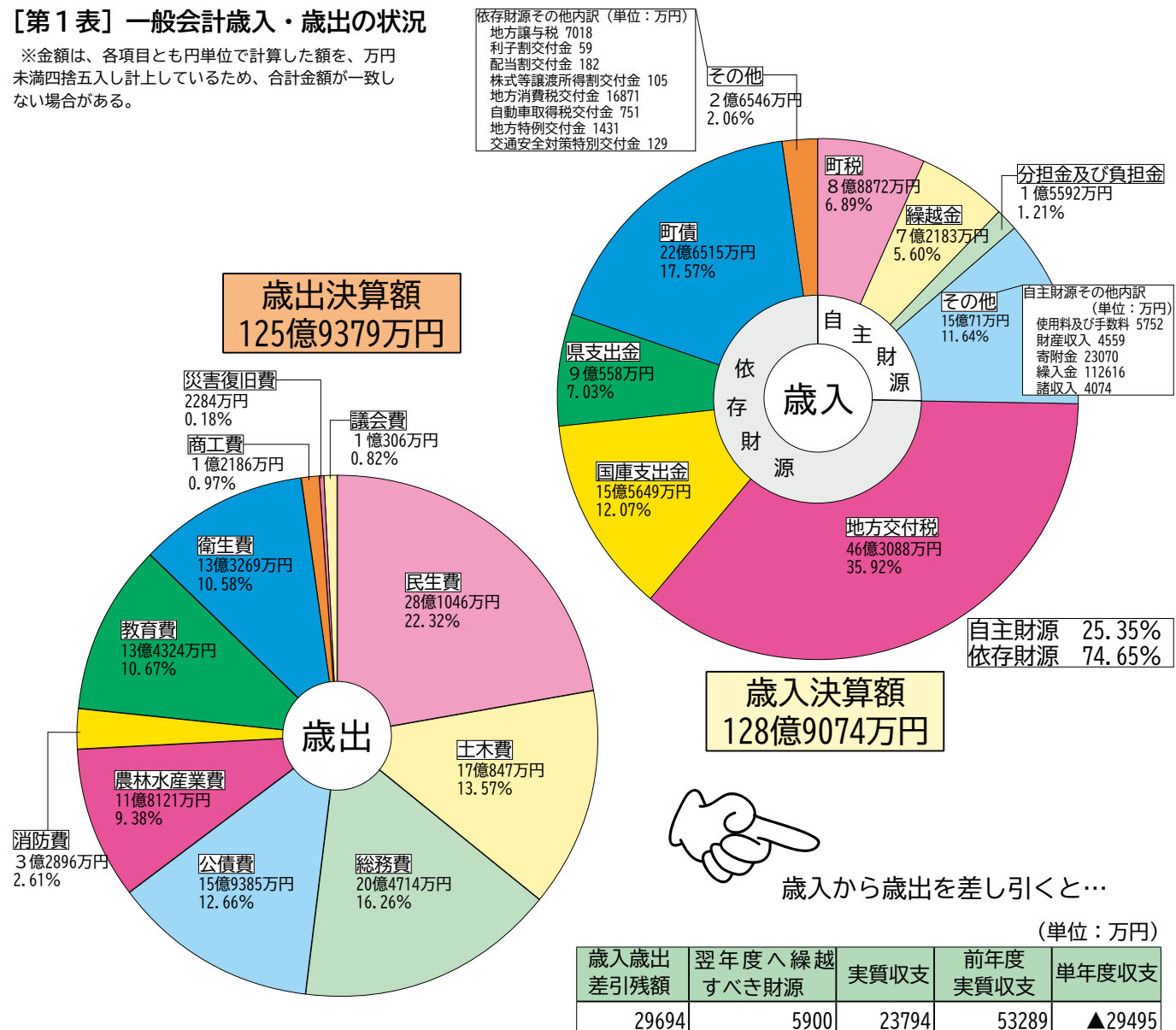
令和2年第3回長島町議会定例会において、決算審査特別委員会に付託された令和元年度の一般会計および13の特別会計決算の認定について、9月14日から17日まで現地調査を含め全委員で実施した。審査に当たっては、議決された予算が目的に従って適正かつ効率的に執行されたか、それによってどのように行政効果が発揮できたか、また、今後の行政運営においてどのような改善、工夫がなされているかを主眼に審査した。

下の第1表は令和元年度の一般会計の決算状況をグラフ化したもので、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた残額は2億9694万円で、翌年度（令和2年度）への繰越額を差し引くと2億3794万円の黒字となった。これから前年度の実質収支額を控除した単年度収支額は2億9495万円の赤字となった。

次ページの第2表には特別会計の収支状況をまとめた。

〔第1表〕一般会計歳入・歳出の状況

※金額は、各項目とも円単位で計算した額を、万円未満四捨五入し計上しているため、合計金額が一致しない場合がある。



一般質問

町政を問う

一般質問とは…
各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をたずねること。
単に疑問をばらし、事実関係

を明らかにするだけでなく、現行政策の見直しや新規政策を提言するなど、議員の重要な活動である。
令和2年第3回定例会（9月）では次の4人の議員が質問した。

1 古田 一博（7ページ）

- ・ 指江庁舎のあり方は
- ・ 小浜川、指江川の寄り洲除去を

2 上筋 睦雄（8ページ）

- ・ 感染症対策の現況は
- ・ 新型コロナ収束後のあり方は
- ・ 教育方法の多様化の推進と体制構築は

3 小田 勝志（9ページ）

- ・ 7月豪雨災害の対応は

4 兒玉 誠（10ページ）

- ・ 土地改良区の事業支援を
- ・ バレイシヨ種イモ生産の供給計画は

指江庁舎のあり方は

河川の寄り洲除去を

総合管理課の事業部門の強化を

古田 令和3年4月から4課46人（建設・耕地・農林・水道課）が指江庁舎から鷹巣庁舎へ移動する。総合管理課に建設課、耕地課などの技術専門のペテラン職員、または再任用の配置はできないか。

古田 現在の指江図書館は、文化ホールの開設時から町民に利用されている。図書や学習スペースが少なく集落からも距離があることから、経験豊富な職員を配置するなど十分検討して進めていく。

図書館を指江庁舎に

古田 利便性を考え、文化ホールから指江庁舎に移す考えは。

庁舎内空きスペースに歯科医院を

古田 現在は鷹巣に民間の歯科医院、平尾に歯科診療所がある。旧長島町の町民は町外の歯科医院で治療されるかたが多いため、活用として空きスペースに歯科医院を新設できないか。

平尾歯科診療所

古田 現在の指江図書館は、文化ホールの開設時から町民に利用されている。図書や学習スペースが少なく集落からも距離があることから、経験豊富な職員を配置するなど十分検討して進めていく。



1階南側スペースに図書館を（現在は農林課と耕地課）

古田 平尾歯科診療所は町営で慢性的な赤字経営となっている。歯科診療所を移転したほうがいいのかどうかを含め、検討委員会具体的に協議していく。指江庁舎の活用については万全を期して努力する。



堤防が決壊し氾濫した小浜川（7月）

二級河川の寄り洲除去を計画的に

え、国や県に強く要望していく。

古田 指江川は、今年7月の豪雨で1カ所が氾濫した。原因の一つとして寄り洲が考えられる。4、5年に1回は寄り洲の除去をすべきではないか。

古田 小浜川は、豪雨のたびに下流が氾濫し、田んぼに土砂が流れ込むため、農家が大変苦勞されている。10年前から堤防のかさ上げや寄り洲除去などが小浜集落から要求されている。国や県に強く要望して災害の起きない河川にすべきではないか。



堆積した岩石など（指江川）

古田 小浜川については、寄り洲除去と同時に下流から護岸のかさ上げをすることが大事な対策の一つとして考

解説 寄り洲 土砂が寄せられて、河川などに自然にできた洲。

上筋 睦雄議員



町長 町独自の保護、療養は行わない。

上筋 救急隊員の待機室、シャワー設備などは劣悪で、防染対策も不十分である。

町長 待機室ではなく仮眠室であり、十分距離は保たれている。シャワー室などの整備は検討する。必要ならば補正予算で対応する。

コロナ収束後の町のあり方は

上筋 コロナ収束後の社会は、一極集中型から、多極分散型、真の地方分権の到来が予想される。行政庁と地場産業は今まで以上に協力し、オール長島「総合商社的長島」を目指す。

町長 総理大臣から「仕組みと、財源配分、法律をつくったからやってみないか」という状況を作っていたいただきたい。

上筋 情報関連産業の誘致、再生可能エネルギー開発、スーパージン構想はないか。

町長 獅子島で交通システムの研究をできないか関係者などと検討する。

解説

スーパーシティ構想

AI（人工知能）やビッグデータを活用し、社会のあり方を根本から変えるような都市設計の動き。国際的には急速に進展。先行している部分もあるが、世界各国でも「まるごと未来都市」は未だ実現していない。日本でも必要な要素技術はほぼ揃っているが、実践する場がない。

教育方法の多様化の推進と体制構築は

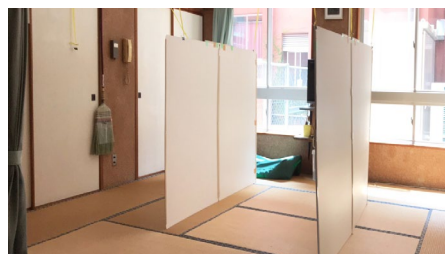
上筋 児童生徒に情報端末を配布、教育の情報化を目指している。「長島町学校教育情報化推進計画」の進捗状況は。

教育長 ホームスクーは今後の教員の動向を注視する。不登校は小学生1名、中学生3名である。

上筋 情報化の時代だからこそ、人間力向上、社会性習得のために適切な集団生活は必須。学校統合、小中高一貫教育などは検討されたか。

教育長 中高一貫教育が、県下にも数例しかない。本町での設置は難しい。

上筋 多様な教育の環境で、ホームスクールは不登校対応に有効とされる。是非は検討したか。現在、不登校は何名か。



救急隊員用の仮眠室

感染症対策の現況と
コロナ収束後の対応は

今後の教育方法は

コロナ対策の現況は

上筋 新型コロナウイルスは、この秋、冬にインフルエンザとの同時蔓延も否定できない。軽症患者などに対する国の方針は、宿泊施設や自宅での療養である。本町の現況は。

急傾斜地、畑地帯の用排水路の見直しは

小田 急傾斜地では、排水路の整備がなされていないため、家屋の裏から水があふれ床下浸水になり危険な状態である。側溝などの整備はできないか、畑地帯の用水路・排水路、河川への吐き口などの見直しが必要ではないか。

町長 浦底川東2地区は平成2年度に擁壁工事を行った。排水路の整備は、個人の敷地であるため、現状の整備は難しい。地元と再協議を行う。

小田 今回（7月）の大雨で河川の護岸の崩

壊、川の氾濫により水田への土砂流入など多くの災害が発生した。二級河川は県の管理であるが、町に管理を移譲できないか。

町長 二級河川の町への権限移譲の制度はない。財源を伴ったものでなければ効果がないので、今後は県と協議を行う。

小田 豪雨による床下、床上浸水被害が発生した。復旧も含め、今後どのような取り組みを行うか。

町長 早急な公共施設の災害復旧、水路、側

溝などの適正な維持管理に努める。今回特別非常災害の指定を受け、全壊が1世帯、準半壊が2世帯、床上浸水が3世帯であった。全壊宅には解体費の9割を国からの補助が、準半壊宅には復旧費の30万円以内の災害救助法が適用される。今回、町における床上浸水3世帯には、県の被災者生活支援基金から一律の支援金が支給される。



大雨で床上浸水した家屋内



小田 勝志議員

豪雨災害の対応は



排水路が詰まり冠水した道路（浦底地区）



県管理の二級河川浦底川



委員会
って何？

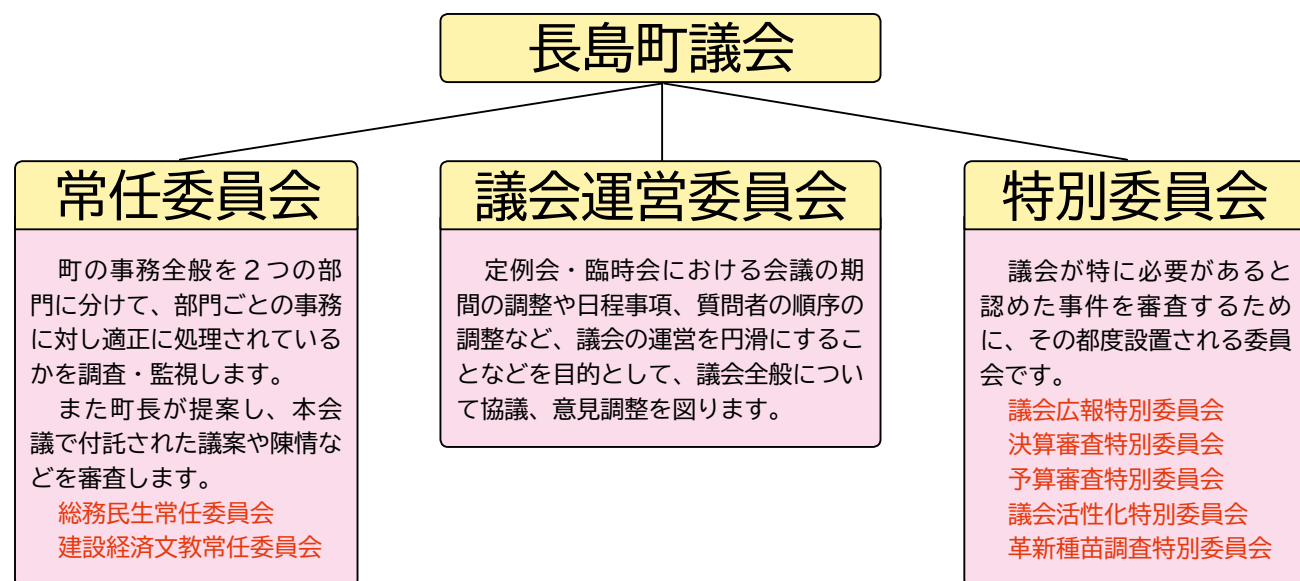
今さら聞けない？ 議会のなぜ？何？



条例で議会に設置することが認められている委員会は、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の3つです。委員会を設置する目的は、本会議で全議員で審議を進めるよりも、委員会ごとに分担

を決め審査することで、より効率的で効果的な審議が行えるためです。

今回の9月定例会では、常任委員会のほか特別委員会も設置されましたので、各委員会の内容などを紹介します。



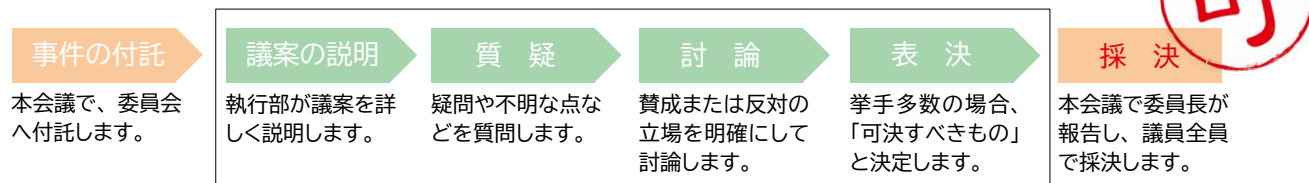
各常任委員会の定数や任期、所管は次のとおりです。

総務民生常任委員会 (7人、2年)	議会、総務課、企画財政課、税務課、町民保健課、介護環境課、福祉事務所、地方創生課、総合管理課、会計課、診療所、長生園、選挙管理委員会及び監査委員並びにその他の委員会の所管に属さない事項
建設経済文教常任委員会 (7人、2年)	農林課、耕地課、建設課、水道課、水産商工課、景観推進課、農業委員会、教育委員会（教育総務課、学校教育課、社会教育課）

委員会の流れ

委員会では、付託された事件を次の順序で審査します。

審査された結果は、本会議で委員長が報告し、議員全員で採決されます。



土地改良区の事業支援を

種イモの供給構想を

児玉 誠議員



土地改良区事務局サービスの考えは

児玉 町内には土地改良区が4団体あり、それぞれ形態は違うものの貯水施設、ポンプ、管路を有している。経年劣化で修繕などが頻発し、併せて会計事務

解説
土地改良区

公共投資による土地改良事業を行政に代わって実施する農業者の組織。町内には鷹巣、伊唐、川床、山門野の4組織がある。

などの業務のため、構成員の負担が大きくなっている。持続的に安定した運営を続けるため、町内土地改良区の事業支援として事務局サービスを設置し、事務局サービスを職員で対応する考えは。

町長 土地改良区の必要性は強く認識しており強化策が必要と考えている。昨年8月、土

地改良区団体連合会が統合の説明をしたが、町内4土地改良区は統合しないとのことである。財源的に町は非常に苦しい状況にあるが、鷹巣土地改良区の状況は理解している。土地改良区が応分の負担をするということ、事業の重要性、農業振興を図るという目的からすると、必要な事業であるので、新年度初めからスタートできるように研究を進めていきたい。



計測器が更新される鷹巣ダム事務所(上)と配水タンク

革新的種苗供給構想の現状と今後の計画は

児玉 本年3月議会で革新種苗調査特別委員長の研修報告があり、まとめとして、
①関係団体との協議
②ほ場の確保
③作付体系の実証
④生産供給の組織構築
および価格設定
の4点が課題として挙げられた。そこで供給開始は何年か。何分の作付けか。その運営方法は。20㌦の販売単価について目標は。



ハウス内での実証実験

町長 種イモ、ウィルスフリー苗を作ることには確立した。今年度、農家に種イモを購入していただき実証したい。農家が、この種イモならいけるといふことになれば、次の協議となる。配布は、現在町全体で700畝のパレイシヨの作付けがあるので、10%の70畝できたらと考えている。価格は、今の種イモより安く販売できればと思っている。町所有の貯蔵庫では限度があるので、町が実証実験として種苗生産するのは15㌦である。

委員会で詳細にチェック

定例会で提出された議案9件を2つの常任委員会で審査しました。各委員会の主な審議内容を紹介します。

総務民生常任委員会

委員長 前田 穂

国民健康保険診療所設置条例

▼診療所

Q. 鷹巣診療所の開所はいつか。竣工式や祝賀会を行うのか。

A. 11月1日開所。竣工式は行いが、祝賀会が行わない。

一般会計補正予算

▼総務課

Q. 9月の職員採用は何名か。中途採用は退職者の補充か。

A. 9月採用は3名で、総務課、企画財政課、地方創生課に配属。令和2年度で退職する職員が9名で、来年4月に若干名を採用する。

▼町民保健課

Q. マイナンバーカードの発行率は。

A. 15・3%（8月末現在）。

▼会計課

Q. システム改修の内容は。

A. 収納代理金融機関にコード番号が振ってあり、債権者のコード番号を変更するもの。

▼福祉事務所

Q. 当初予算で計上した健康管理支援システムの減額理由は。

A. 当初は、システムを各福祉事務所を導入するよう国から通知があったため予算計上し

たが、本町は独自の調査体制がとれたので不要となった。

▼介護環境課

Q. 小規模多機能型居宅介護事業所の場所の選定方法は。

A. 副町長以下7名で組織する選定委員会で選定した。

Q. 小規模多機能型居宅介護事業所県補助金3863万4千円の積算根拠は。

A. 1施設当たり1500万円から3360万円の範囲で補助金を交付する。施設開設準備経費は1室当たり83万9千円で、6室分の503万4千円を計上

した。

Q. 町からの補助金は計上されていないが、補助金はないのか。

A. 指江地域活性化の一環で、事業者決定後、事業費に応じて予算計上する。

Q. 台風9号による流木は量が多いので、海岸清掃補助での対応はできないか。

A. 災害廃棄物の補助制度はあるが、海岸保全区域内には適応できない。汐見漁港、唐隈港、小浜港は対象外であるが、海岸漂着物等地域対策推進事業が該当すれば、その補助金を充当したい。

◎総括意見

小規模多機能型居宅介護施設建設については、近隣住民との十分な協議が必要ではないか。また、用地は駐車場を含めると狭く、環境面からも場所の再検討が必要ではないか。



→建設予定地の旧長島町中央公民館跡地（指江）

建設経済文教常任委員会

委員長 小田 勝志

一般会計補正予算

▼景観推進課

Q. 幣串の町営住宅1号棟のシロアリ被害に伴い、教職員住宅を所管換えし移動する計画であるが、2号棟はシロアリ被害などの問題は無いのか。

A. 現在のところ被害は無いので、現状のまま利用する。

▼水産商工課

Q. 獅子島地区のアオサ養殖場の土砂を除去しなければならぬ理由は。

A. 水面よりも堆積した土砂が高くなるとアオサの網が張れず、アオサの種が付かない恐れがあり、土砂を除去して海水で洗う必要があるため。



河川の災害状況を確認する委員（蔵之元）

▼建設課

Q. 蔵之元川や船津川は毎年のように寄り洲ができ、原形復旧だけでは毎年工事が必要になる。これまでと違う施工方法はないか。

A. 町河川は幅が狭く急なところが多いので一部に溜まることが多い。緊急性の高い箇所から対応している。寄り洲ができない施工は難しく、必要なところから対応していく。

▼耕地課

Q. 川床地区の舗装は本年度550㎡で完成か。全体計画は何か。

A. 全体の延長は約3000㎡で、旧駐在所前から山門野ため池まで、川床中学校までで、川床中学校までは両側、あとは片側舗装になる。昨年度まではスマイルプラン事業で約600㎡を舗装している。

▼教育総務課

Q. 給食センターの蒸気式消毒保管機部品取替の内容は。

A. 蒸気式消毒保管機が13台あり、そのうち劣化が著しいゴムパッキンなどを交換する。

▼農林課

Q. 果樹生産拡大推進

事業の詳細を。

A. 国の果樹農家の規模拡大に対する新規事業が新設されるなど、支援事業が拡大している。町内の果樹農家も新植を含めて面積が拡大しているため、それに対する補助を行う。

▼社会教育課

Q. 総合町民体育館の屋根鳥害対策の修繕費の詳細を。

A. 体育館で雨漏りがあり、3月に修理を行ったが5月にも生じたため、再度調査したところ、原因はガラスによるものと判明したため、の修繕費である。

新たに生じた土地

▼水産商工課

Q. 観音漁港は、船の数と比較すると港の規模が大きいのではないのか。どのような種類の漁船がいるか。

A. 規模が大きいのは台風時などの避難港としての役割もあるため。刺し網や一本釣りの漁船がいる。



→しゅん功認可があった観音漁港（梅ノ木山）

議会傍聴に行こう

長島町議会では、傍聴者を随時受け付けています。ぜひ傍聴にお越しください。

本会議は、町ホームページやスマートフォン、役場ロビーに設置してあるテレビでもご覧いただけます。

次の定例会は12月に開会されます。



♪傍聴者の声♪

「（傍聴で）町を身近に感じた。興味深い課題の解決をよろしく願います」

「コロナ感染症の収束後の質問より現状の対策を質問すべき」

議会のうごき

7月

2日 令和3年度公立高等学校生徒募集定員策定等に係る地区説明会 (出水市)

14～20日 監査委員による決算審査

16日 出水地域開発促進協議会総会 (出水市)

17日 北薩広域行政事務組合議会第2回定例会(出水市)

20日 阿久根地区消防組合例月出納検査(阿久根市)

21日 例月現金出納検査

22日 監査委員による工事事務監査

29日 県後期高齢者医療広域連合例月現金出納検査 (鹿児島市)

8月

5日 県町村議会議長会監査・決算審査・第2回理事会 (鹿児島市)

7日 議会運営委員会(第2回臨時会のため)

11日 第2回臨時会・第7回全員協議会

20日 出水地域開発促進協議会北薩地域振興局要望 (薩摩川内市)

21日 阿久根地区消防組合例月出納検査(阿久根市)

27日 例月現金出納検査

27日 県後期高齢者医療広域連合例月現金出納検査 (鹿児島市)

27日 監査委員による決算審査報告

31日 議会運営委員会(第3回定例会のため)

9月

4～25日 第3回定例会

4日 第8回全員協議会

14～17日 決算審査特別委員会

18日 例月現金出納検査

24日 阿久根地区消防組合例月出納検査(阿久根市)

25日 第9回全員協議会

28日 県後期高齢者医療広域連合例月現金出納検査 (鹿児島市)

30日 杉ノ段招魂祭

第1回広報特別委員会(議会だよりNo.61)

被災された皆様へ

令和2年7月豪雨、台風9号、10号により、犠牲になられた方々のご冥福を衷心よりお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

一日も早く復興がなされ、皆様の生活が安定されますよう、心からお祈り申し上げます。

本町においては、7月3日から9日までの累計雨量が788mm(長島町役場観測所)となりました。

幸いにも人的被害はなかったものの、家屋の倒壊や道路の損傷など大きな物的被害が多数発生し、特に獅子島の立石地区では大規模な地滑りが起こり道路が寸断されました。

現在も復旧に向けて作業が進められておりますが、町議会も一丸となって今後も尽力いたします。

長島町議会



田んぼの稲穂が実り秋の気配を感じる季節となりました。

秋はスポーツの秋と、私たちにとっては一番過ごしやすい季節です。

しかしながら、今年は新型コロナウイルス感染症のため開催を予定していた秋のイベントが中止となっています。

先日行われた小中学校の運動会や体育祭も午前中のみで開催となりました。子どもたちにとっては物足りなかったかもしれません。

でも今は我慢の時。「災い転じて福となす」ということわざがあるように、一人ひとりが予防対策に努め、感染拡大を防止することにより明るい未来が見えてきます。

一日も早くワクチンが開発され、経済や日常生活を取り戻したいと願うものです。(池田 安彦)

【発行責任者】

議長 長 林 義明

【編集】

議会広報特別委員会

委員長 児玉 誠

副委員長 二階堂 猛

委員 池田 安彦

委員 古田 一博

委員 福永 伸親

